

「日大歯学」投稿の手引き

2018年（平成30年）4月

日 本 大 学 歯 学 会

日大歯学編集委員会

「日大歯学」投稿の手引き

日大歯学への投稿にあたっては本誌の投稿規定ならびにこの手引きに従う。

1. 論文の形式

- 1) 原著論文は原則として表紙、抄録、本文、文献、図(写真)・表の説明文の順とし、表紙から通しページ番号をつける。原著論文以外の総説、症例報告なども、原則としてこれに準ずる。
- 2) 原稿はA4判用紙を用い、1頁当たり40字×20行、12ポイントの文字で印字する。余白は天地左右25mm程度とする。
- 3) 論文の形式は最新号の雑誌を参照すること。

2. 倫理規定

- 1) 人を対象とする臨床研究、疫学研究に関しては「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従ったものでなければならない。研究対象者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また所属機関の倫理委員会の承認を得ていること(承認年月日、承認番号を含む)を明記しなければならない。また、発表資料等から研究対象者が特定されることがないように、匿名化されている情報(特定の個人を識別することができないものであって、対応表が作成されていないものに限る)にするなど、個人情報の保護を徹底すること。
- 2) ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の場合には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」及び「遺伝子治療臨床研究に関する指針」に従ったものでなければならない。研究対象者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また所属機関の倫理委員会の承認を得ていることを明記しなければならない。投稿にあたり被験者全員の同意文書を添付する。また、発表資料等から研究対象者が特定されることがないように、匿名化されている情報(特定の個人を識別することができないものであって、対応表が作成されていないものに限る)にするなど、個人情報の保護を徹底すること。
- 3) 動物を対象とする研究の場合には、「動物の愛護及び管理に関する法律」等を遵守した上で、各研究機関が定めるガイドラインに従って、動物実験等を適正に実施しなければならない。本文中に所属機関及び実施機関の動物実験委員会等の承認を得ていること(承認年月日、承認番号を含む)を明記しなければならない。

3. 表紙

- 1) 表紙には、中央上段から表題、著者氏名、所属機関名、責任著者連絡先、20字以内のランニングタイトルを記載する。
- 2) 表題は、研究の主題は具体的かつ簡潔に表現する。また、論文を数報に分けて発表するときは、その研究の主題の次に内容を具体的にあらわす副題を付ける。英単語は固有名詞・略語等を除き、小文字で表記する。
- 3) 著者名の表記(旧字、異体字)は著者自身が指定する。また、著者の所属機関が異なる場合は氏名の右肩に数字を付け、所属の左肩にも数字を付ける。
指導者が共著者に含まれない場合は(指導:)として別に表記することができる。

4. 要旨およびキーワード

研究の目的、方法、結果および結論を600字以内で簡潔に表現する。その研究の重要なポイントを盛り込む必要がある。なお、結論の繰返しとしないようにすること。

最後に、研究の主題を的確に表現するキーワードを5個以内付記する。

5. 本文

1) 構成

本文は原則として緒言、材料および方法、結果、考察の順に記述し、付番はしない。症例報告は原則として緒言、症例の概要、治療内容と経過、考察の順に記述する。各項目の中で付番する場合は1, 1), (1), aの順とする。緒言は研究の目的と意義を簡潔に記述する。

材料および方法は研究に用いた材料、方法、手順を詳細に記述する。使用した薬物および器材は製造会社名、形式等を補記する。

結果は図表を含めてわかりやすく示し、使用する図表は必要最小限にとどめる。

考察は研究から得られた結果を検討し、新知見、問題点、今後への展開などを明解に述べる。

2) 表記

本文はひらがなまじりの口語文章体(いわゆる「である体」とし、常用漢字、現代仮名遣いを用いる。代名詞、

接続詞，副詞，助動詞などは仮名書きとする。
句読点にはコンマ（，）とマル（。）を使用する。

3) 用語・単位等

学術用語は「文部省 学術用語集 歯学編（増訂版）」および各学会制定の用語を使用する。数字はアラビア数字（算用数字）を用いる。ただし，数字を含む名詞などは漢字とする。

例) 十二指腸，二次元，第一大臼歯

単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。

外国語の人名は，姓のみを記す。

国名および地名は本文中では原則としてカタカナ，文献欄では原綴のままとする。外国語の書名は日本語に訳さず，原綴のままとする。

4) 謝辞および学会発表

研究補助金についての記載，謝辞およびその他の特記事項は結論の末尾に付記する。

利益相反のある場合，その旨を記載する。利益相反がない場合も「本論文に関して，開示すべき利益相反はない」などと記載すること。

6. 文献

文献は本文中の引用箇所にも右肩上付きで引用番号を付け，引用順に末尾に所定の形式で記載する。複数の文献をまとめて同一箇所に引用する場合は，年代の古い順に記載する。やむを得ず，学会発表の抄録などを引用する場合は末尾に（抄録），発行前の雑誌論文を引用する場合は（印刷中），また英文の場合には（in press）と明記する。

<雑誌> 著者（発行年）表題. 掲載誌巻，ページ.

- 1) 小川麻衣，高橋康代，伏木怜奈，堀貫恵利，馬谷原琴枝，清水典佳（2016）日本大学付属歯科病院歯科矯正科における実態調査—来院患者数およびその分布について—. 日大歯学 90, 53-60.
- 2) Kurokawa H, Takamizawa T, Rikuta A, Tsubota K, Miyazaki M (2015) Three-year clinical evaluation of posterior composite restorations placed with a single-step self-etch adhesive. J Oral Sci 57, 101-108.

<単行本>

著者（発行年）書名. 巻，版，出版社，出版地，ページ.

分担執筆者（発行年）分担執筆表題. 書名. 巻，版，編者または監修者，出版社，出版地，ページ.

- 1) 矢田純一（1997）医系免疫学. 改訂 5 版，中外医学社，東京，236-263.
- 2) 宮崎真至（2015）MI の理念と接着. 接着歯学. 2 版，日本接着歯学会編，医歯薬出版，東京，4-5.
- 3) Clark WG, Brater DC, Johnson AR (1992) Goth's medical pharmacology. 13th ed, Mosby, St Louis, 584-591.
- 4) Kaugars G (1991) Benign fibro-osseous lesions. In Oral & Maxillofacial Radiology. Miles DA, Kaugars GE, Van Dis M, Lovas JGL eds, Saunders, Philadelphia, 125-153.

<翻訳書>

原著者（原綴りで）（原書の出版年）原書名巻，原書の版，原書の出版社，原書の出版地：翻訳者名訳（出版年） 翻訳書名翻訳書の巻または版，翻訳書の出版社，出版地，ページ.

- 1) White GE (1993) Osseointegrated dental technology. Quintessence, London: 前田芳信訳（1995）ホワイトのインプラント上部構造. クインテッセンス出版，東京，47-60.

その他の記述形式

<電子ジャーナル>

原則として通常の雑誌論文と同様とするが，通巻ページが不明な場合は DOI などを明記する。印刷される前に電子ジャーナルで公開されているものは，DOI のあとに Epub ahead of print と記す。

- 1) Tsujimoto A, Barkmeier WW, Takamizawa T, Watanabe H, Johnson WW, Latta MA, Miyazaki M (2016)

Influence of duration of phosphoric acid pre-etching on bond durability of universal adhesives and surface free-energy characteristics of enamel. Eur J Oral Sci, doi: 10.1111/eos.12284. (Epub ahead of print)

<インターネットウェブサイト>
発行元. 記事名. ウェブサイトアドレス. (アクセス日)

1) 厚生労働省. 平成 23 年歯科疾患実態調査現在歯数および 1 人平均値歯種・年齢別 (5 歳以上・永久歯).
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/62-17c23-1.pdf> (2012 年 12 月 20 日アクセス)

7. 図 (写真) および表

図 (写真) および表は本文と別にし、図の場合は下方に、表の場合は上方にそれぞれ図表番号 (例: 図 1, Fig. 1, 表 1, Table 1) と表題を付記し、別に説明文 (英文でも可) を作成する。

図 (写真) および表はそのまま製版できるように鮮明なものを用意し、縮小率を指定する。図をカラー印刷希望の場合にはカラーデータを、モノクロ印刷希望の場合にはモノクロデータを添付する。また、データ形式は可能な限り jpg とし、画像サイズはレイアウトに対応する大きさとする。画面解像度については写真の場合 300 dpi 以上、線画の場合 1,200 dpi 以上にする。

図中に挿入する文字などは縮刷後も判読できる大きさで記入し、判読できるよう注意する。

顕微鏡写真および被写体の大きさを明示する必要がある場合はスケールを写真に入れる。

個人の顔写真を掲載する場合は「目隠し」を施すなど、その人物が特定できないよう配慮する。

8. ファイル作成上の注意

英字・数字 (英文中の「,」「.」を含む) はすべて半角、漢字・仮名・句読点は全角で入力する。

本文中の数字と単位記号 (°C「%」は除く) の間は半角分のスペースを空ける。

図表データを添付する場合は、作成に際して用いたソフト名およびバージョンを記載する。

ファイルを分割して作成した場合は原稿の記載順に、ファイル名に連番を付ける。

9. 投稿原稿の送付

・原稿と電子記録媒体による投稿の場合

- 1) 投稿原稿は投稿申込用紙等、表紙、要旨、本文、文献の順に重ね、表紙から通しページ番号をつける。
- 2) 図および表は番号順に重ね、それぞれ別に綴じる。
- 3) 投稿論文はオリジナルを 1 部 (図、表、写真を含む) 送付する。写真については原図とする。
- 4) 送付にあたっては図、表、写真、スライド、電子記録媒体を損傷しないように十分に注意する。
- 5) 投稿原稿は学会事務局へ提出あるいは郵送する。
- 6) 掲載された投稿原稿は返却しない。

・電子投稿(e-mail)による場合

- 1) 原稿 (和文表紙、要旨、本文、文献) は、Microsoft Office Word (以下 Word) 形式とする。
- 2) 図は、tif、jpg または pdf 形式とする。
- 3) 表は、Microsoft Office Excel または Word 形式とする。
- 4) ファイル名は、和文で「著者名」_「講座名」_「原稿・図・表・投稿申込用紙」_そしてファイル種類を表す「. 拡張子」とする。例) 日大太郎 _ 歯科保存学 I _原稿.doc
なお、すべてを一括して、フォントを埋め込んだ PDF でも投稿可能とする。その際のファイル名は、例) 日大太郎 _ 歯科保存学第 I _一括原稿.pdf などとする。
- 5) e-mail の件名 (Subject) は、日大歯学投稿論文とする。
- 6) pdf 形式にした投稿申込用紙、確認書、チェックリスト、そして投稿原稿と図および表は日大歯学編集委員会の e-mail アドレス (de.shigakukai@nihon-u.ac.jp) に送付する。

・投稿申込用紙、確認書、チェックリストは、日本大学歯学会の HP「日大歯学」からダウンロードしてください。